

2008年度日豪学生交流派遣学生募集

「僕がこの日豪交流で一番心に残ったことは、コアラを見たことでも、カンガルーと触れ合ったことでも、ペンギンを見たことでもありません。それは現地の方々との交流でした。」

(過去に日豪学生交流に参加した学生の感想)

東京高専は1984年以来、オーストラリアの教育機関と、隔年ごとに相手校を訪問する「日豪学生交流」を実施してきました。この交流を通してこれまでに渡豪した東京高専学生は208名、来日した豪学生は126名に上ります(2007年現在)。メルボルン地域のTAFE2校(Technical & Further Educationの略称。オーストラリア全土に展開される公立の職業訓練のための高等教育機関)と締結された交流覚書に基づいて下記要領により、2009年3月に本校学生代表を派遣することになりましたので、参加学生を募集いたします。現地ではホームステイとホテル利用の両方を体験し、フィールド・トリップ、各種イベント参加などを通してTAFEの学生との交流を図ると共に、オーストラリアの文化を実体験する予定です。

記

- 派遣時期と期間： 2009年3月17日(火)～27日(金)の11日間
3月18日～23日はTAFE学生宅等でのホームステイ
3月24日～25日はメルボルン市内ホテルまたはユースホステル泊の予定
- 応募資格： 東京高専本科生及び専攻科生で、国際交流に関心があり、積極的に交流に参加したいと願っている者。また、その体験を他の学生に意欲的に還元したいと考えている者。学業上支障のない者。
- 募集人数： 20名程度
- 応募書類： 必要事項を記入した所定の申し込み用紙。(学生課に用意されている)
A4判1枚程度(600字～800字程度)の「応募の動機」「日豪学生交流に参加して何を学んでみたいか」をテーマにしたエッセイ)
- 募集期間： 2008年10月1日(水)～10月10日(金)
- 選考方法： 書類審査と面接による
- 面接時期： 2008年10月中旬～下旬(予定)
- 選考結果発表： 2008年11月初旬(予定)
- 事前研修： 選抜された者を対象として、英会話やオーストラリアの文化についての研修を行う。
- 参加費用： 約20万円 (往復航空運賃、メルボルンでのホテル宿泊費、保険料等含む)
【注：燃油サーチャージの見直しで変更(値上がり)の可能性があります】
- 問合せ先： 下記の日豪学生交流実行委員会(教員実行委員会)又は学生課生活支援係まで。
- | | |
|------|---------------------|
| 委員長 | 小中澤聖二(一般教科 数学) |
| 副委員長 | 堀 智子(一般教科 英語) |
| 委員 | 佐藤 義隆(一般教科 数学) |
| 委員 | 吉本 定伸 (情報工学科) |
| 委員 | 黒田 一寿(一般教科 体育) |
| 委員 | John Gates(一般教科 英語) |